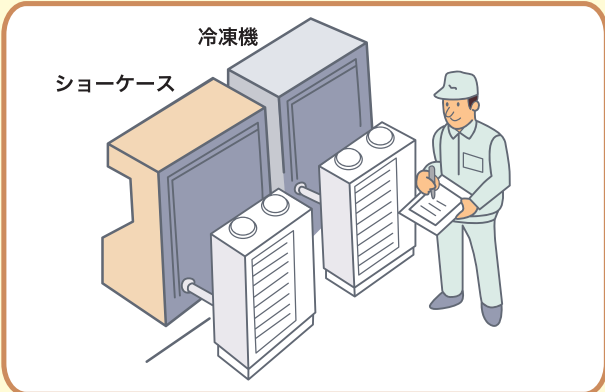


冷凍空調設備の専門業者は 役割が拡大します

- 繰り返し充填の禁止
(修理をせず充填の禁止)



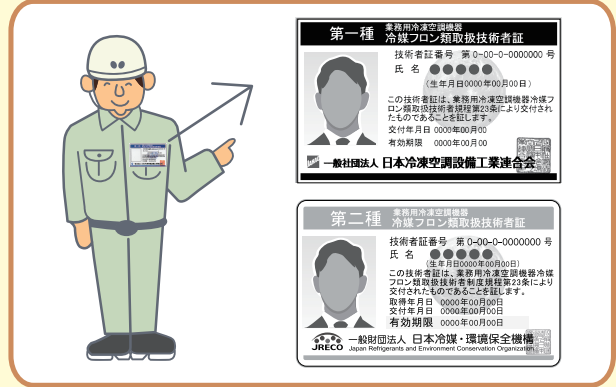
- 一定規模の機器の定期点検は「十分な知見を有する者」が実施する



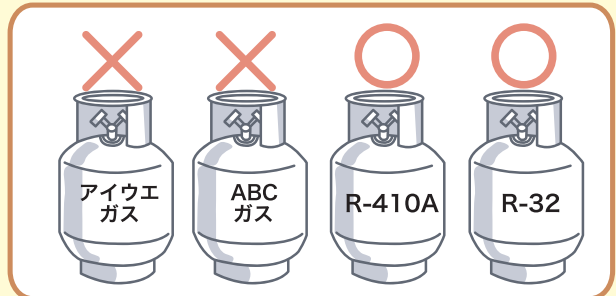
- 「充填量」「回収量」を記録し年度毎に都道府県知事へ報告



- 都道府県知事の登録を受けた専門工業者以外はフロン類を「充填」「回収」することはできません
(「冷媒フロン類取扱技術者」等が充填を行う)



- 指定冷媒以外のフロン類の充填をしてはならない
(他の冷媒を入れる時は機器メーカーへの確認やユーザーの了承が必要)



- 「充填証明書」「回収証明書」を管理者に交付しなければなりません (30日以内)

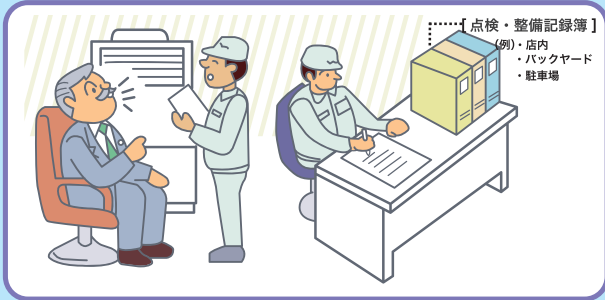


罰則 (充填回収業関係)

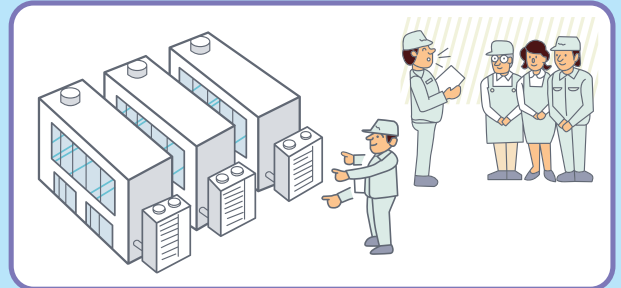
- | | | | |
|-----------------------|----------------|------------|-------------------|
| 1) 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 | ①未登録、虚偽登録 | ②業務停止命令違反 | ③みだり放出 |
| 2) 50万円以下の罰金 | ①充填基準違反 | ②行程管理票交付違反 | |
| 3) 30万円以下の罰金 | ①未届出、虚偽届出 | | |
| 4) 20万円以下の罰金 | ①記録保存義務・虚偽記録違反 | ②未報告、虚偽報告 | ③立入検査の収去の拒否、妨げ、忌避 |
| 5) 10万円以下の過料 | ①廃業未届出 | | |

機器の所有者は 責任が増加します

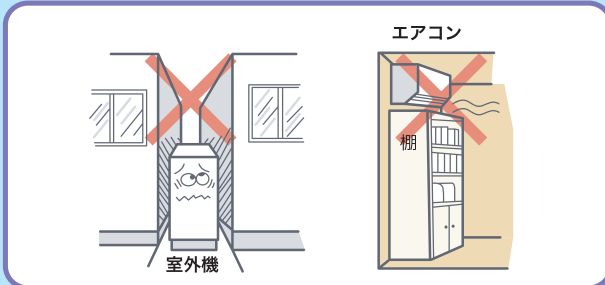
- 管理担当者を決める
- 管理する機器を調査しリストを作る
- 機器ごとに点検・整備記録簿を作成



- 簡易点検する担当者を決める
- 日常的に簡易点検 (3ヶ月に1回以上)



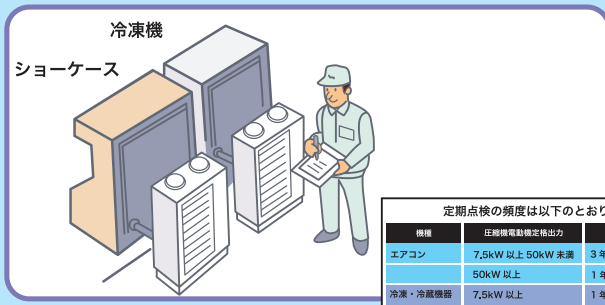
- 適切な設置と適正な使用環境の維持



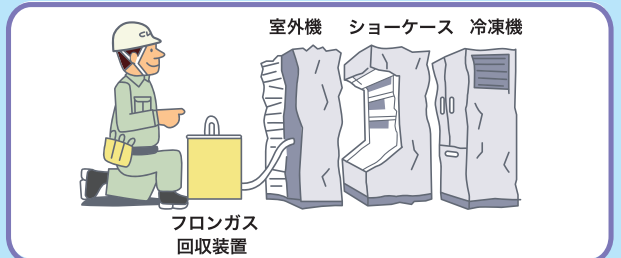
- 漏えいの疑いがあるときは速やかに専門業者に点検・修理を依頼する



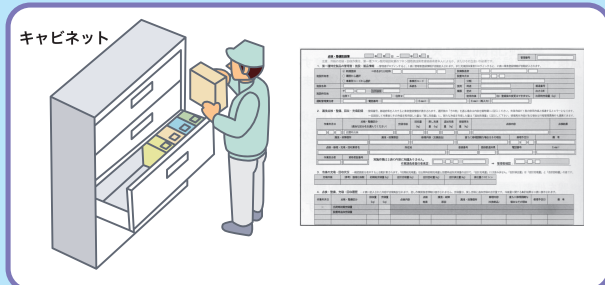
- 専門業者による定期点検を実施



- 機器を廃棄する際はフロンを回収しなければなりません



- 点検・整備記録簿に記録・保存



- 算定漏えい量の報告



罰則 (管理者関係)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1) 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 | ① フロンのみだり放出 |
| 2) 50万円以下の罰金 | ① 管理者の判断基準違反 ② 行程管理票交付違反 |
| 3) 20万円以下の罰金 | ① 「管理の適正化の実施状況報告」の未報告、虚偽報告 ② 立入検査の取次の拒否、妨げ、忌避 |
| 4) 10万円以下の過料 | ① 算定漏えい量の未報告、虚偽報告 |